

荒川区バリアフリー基本構想推進協議会

議 事 要 旨

日時：令和5年3月14日（火） 10:00～10:40

場所：サンパール荒川 5階 第7集会室

議事次第：

1. 開 会

2. 議 事

(1) 荒川区バリアフリー基本構想（更新版）の説明

(2) 特定事業計画の進捗状況の報告

(3) その他

3. 閉 会

1. 開 会

- ・ 防災都市づくり部長挨拶
- ・ 配付資料の確認
- ・ 会長、副会長の選任

2. 議 事

(1) 荒川区バリアフリー基本構想（更新版）の説明

[資料説明]

事務局が資料 1 について説明

[質疑応答]

特になし

(2) 特定事業計画の進捗状況の報告

[資料説明]

事務局が資料 2 について説明

[質疑応答]

特になし

(3) その他

[資料説明]

事務局が資料 5・6・7 について説明

[質疑応答]

<委員>

荒川区内の駅等の公共施設において、外国製のエレベーター・エスカレーターを導入している所はあるか。

<会長>

事務局は把握しているか。

<事務局>

状況は把握していない。

<委員>

地下 42 メートルにある都営地下鉄大江戸線の六本木駅エレベーターが故障し、数か月利用できない状況にあった。その理由は海外メーカーの製品を使用しており、

そのメーカーがすでに日本から撤退していたために、部品の調達に時間がかかったとのことである。荒川区内の公共施設に関しては、すぐに対応できる製品を採用して欲しい。

もう一点、二人乗りのベビーカーがバスに乗車できず、辛い思いをしているとの話を聞く。本人の対応もあると思うが、周りの人の配慮が必要だと思う。心のバリアフリーにも通じる内容だと思うので、バスなどで心に痛みを感じないバリアフリーにつなげて欲しい。

<会長>

1 つ目のエレベーターに対するご意見に関しては、エレベーターユーザーとしては大変心配なことだと思う。公的機関の状況だけでも事務局が確認し、報告して欲しい。

2 つ目の二人乗りベビーカーの件に関しては、マスコミ等でも取り上げられた問題であり、心のバリアフリーについて、より一層の啓発が必要とのご意見である。障がいをお持ちの方、高齢な方だけではなく、妊婦の方、お子さん、外国の方含めて多様な方が対象であるため、多様性に配慮し心のバリアフリーを促進していくことが重要と思う。この場でも皆様にご理解いただき、促進にご協力いただきたい。

<委員>

1 つ目はエレベーターに関することだ。皆様のご協力のおかげで荒川区内のバリアフリー化が進んでおり、大変ありがたい。私はアクロスあらかわを利用しているが、現在、アクロスあらかわでは 2 つのエレベーターの改修を進めている。先日、小さい方のエレベーターが完成したので試乗したが、車いす用の操作盤の位置が高く 1 人では使用できない。改修前のエレベーターは介助がなくても利用できていたので残念である。館長にも状況を伝えたが、事務局の方でも現地を確認し、対応をお願いしたい。

2 つ目は高速道路の ETC について、今までは自分名義の車しか障がい者割引の対象にならなかったが、今後は自分名義以外の車でも割引を受けることができると聞いた。詳細が不明なので分かれば教えて欲しい。

<会長>

1 つ目の問題については、アクロスあらかわは障がい者の方の利用頻度が高く、特に配慮が必要な建物である。このような場合には、改修工事前にユーザーのご意見を伺い、利用者に配慮した設計や製品等を選択する段取りが必要だったと思う。今後は改善して欲しい。

2 つ目の ETC に関して、事務局はいかがか。

<事務局>

1つ目のエレベーターの件については、現地を確認し対応を検討する。

2つ目の高速道路のETCについては、詳細な内容を把握していないので、調査の上、回答する。

<会長>

対応をお願いします。

<委員>

台東区の状況としては、今年度、バリアフリー基本構想を更新した。台東区でも当初の策定から10年経ち、この間にハードの事業については、鉄道、道路等のバリアフリー化が進んだ。しかし、せっかく整備したバリアフリーの情報が、必要な人に伝わっていないことが課題となっており、バリアフリーマップやアプリ形式での周知方法を検討している。特に荒川区や文京区などとの区境の所に関しては隣接区と情報共有し、シームレスな福祉のまちづくりに取り組んでいきたいと思う。

<会長>

利用者の立場としては区の中の移動だけではなく、区を跨いだ移動が日常だと思うので、より一層の連携と利用者への配慮をお願いします。

議事は以上をもって終了する。

3. 閉 会